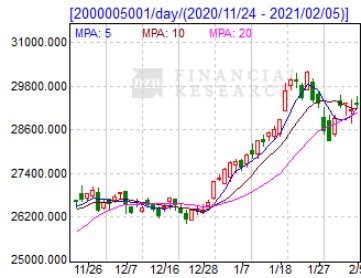




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	31,148.24	92.38	0.30	3.89	1.77	30,606.48
NASDAQ	13,856.30	78.56	0.57	6.01	7.51	12,888.28
日経225	28,779.19	437.24	1.54	4.03	4.86	27,444.17
上海総合	3,496.33	-5.53	-0.16	0.38	0.67	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,483.41	9.47	0.17	2.46	5.22	5,211.29
ハンセン	29,288.68	175.18	0.60	3.55	7.56	27,231.13
中国企業	11,561.32	-2.18	-0.02	3.15	7.66	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は3.6%高と反発、上海総合指数は0.4%高

香港市場ではハンセン指数が週間で3.6%高と反発。前週末に約半月ぶり安値を付けた後だけに週前半は買い戻しの動きが広がった。2日にはハンセン指数が節目の29000ポイント台を回復。ただ、その後は翌週から始まる旧正月の連休を前に持ち高調整の売りが重しとなり、一進一退の展開が続いた。本土市場では上海総合指数が週間で0.4%高と反発。資金ひっ迫懸念の後退を受けて上海総合指数は1日に節目の3500ポイント台を回復し、2日も続伸したが、その後は週末5日まで3日続落と軟調に推移した。

今週の展望:香港市場は堅調な展開か、旧正月の連休入りで3日半の取引

香港市場は旧正月の連休入りのため3日半の取引。世界的な低金利環境の継続やワクチン接種普及による経済活動の正常化への期待などを背景に堅調な値動きが予想される。一方、前週の大幅反発を受けて利益確定売りが出やすいほか、連休入りで本土マネーの流入が止まることは痛手。ハンセン指数は30000ポイントの節目に近づく水準では上値が重くなりそうだ。本土市場も堅調な展開か。旧正月の連休入りで3日間の取引となるが、例年旧正月前は相場が上昇しやすく、旧正月後の上昇を見越した先回り買いが予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 銀河娛樂 (00027)	66.70	13.44
2 美团 (03690)	401.40	12.82
3 申洲國際集團 (02313)	171.10	12.49
4 CNOOC (00883)	8.52	11.81
5 藥明生物技術 (02269)	120.70	10.63
6 安踏體育用品 (02020)	141.70	10.44
7 テセント (00700)	733.00	7.56
8 サンス・チャイナ (01928)	33.05	7.13
9 AIAグループ (01299)	100.00	6.67
10 アリババ集團 (09988)	258.00	4.54

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 小米集團 (01810)	27.20	-6.85
2 バドワイザーAPAC (01876)	24.45	-6.14
3 恒安國際集團 (01044)	53.85	-3.23
4 恒基兆業地産 (00012)	30.80	-2.84
5 新世界發展 (00017)	35.15	-2.50
6 ホンコン・チャイナガス (00003)	10.90	-2.15
7 中国工商银行 (01398)	4.87	-1.62
8 香港鐵路 (00066)	44.50	-1.44
9 中銀香港 (02388)	22.90	-1.29
10 長江和記実業 (00001)	53.05	-1.21

▼今週の期待材料

- ◆NY 市場で S&P500 やナスダック 総合が過去最高値を更新、個人投資家の投機的売買による混乱も落ち着く
- ◆中国汽車工業協会が1月の自動車販売台数について32%増加するとの見通しを発表、商用車は50%の大幅増
- ◆本土市場は旧正月連休前に上昇しやすい傾向が顕著、連休後の上昇を見越した先回り買いに期待

▼今週の懸念材料

- ◆旧正月の連休入りで9日から相互取引による南向き取引が停止に、連休前で香港市場の売買代金は縮小の公算
- ◆中国政府が旧正月期間中の移動制限を呼びかけ、旧正月期間の旅客数は19年比で4割程度に落ち込む見通し
- ◆中国政府が独禁法適用のガイドラインを7日付で施行、ネット大手の締め付け強化へ

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 東風汽車集團 (00489) : 1月の新車販売台数が22%増加、乗用車は14%増
- ☆ 世茂集團 (00813) : 1月の不動産販売額が96%増加、販売面積は94%増
- ☆ 大唐新能源 (01798) : 1月の発電量が76%増加、太陽光発電は2.3倍に拡大
- ☆ サンズ・チャイナ (01928) : マカオに新型コロナワクチンの第1陣が到着
- ☆ 長城汽車 (02333) : 1月の新車販売台数が73%増加、小型EV「欧拉」は7.9倍に拡大
- ☆ 緑城中国 (03900) : 1月の不動産販売額が261%増加、販売面積は229%増
- ☆ 衆安在線財産保險 (06060) : 20年12月本決算はコスト削減などで黒字転換の見通し
- ★ PCCW (00008) : 20年12月本決算は赤字転落、市場予想から大きく下振れ
- ★ テンセント (00700) : バイトダンスが独禁法違反で提訴、両社の対立が再び激化
- ★ ヤム・チャイナ (09987) : 新型コロナの感染対策で1-3月期の売上高に下押し圧力

▼今週の主なイベント

- 2月10日(水)
 - 【中国】物価統計(1月)
- 2月11日(木)
 - 【中国】旧正月で休場(～17日)
 - 【香港】半日立ち会い
- 2月12日(金)
 - 【香港】旧正月で休場(～15日)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。